

東京にある朝鮮半島由来の文化財を知る・学ぶ

海を隔てて、日本と朝鮮・韓国の文化交流は古くから盛んに行なわれ、人と物の往来は絶えることがありませんでした。日本各地の博物館・美術館や仏閣・神社などの施設で、朝鮮半島由来の文化財を見ることができます。

なかでも、江戸時代以降日本の政治・経済・文化の中心である東京には、とりわけ近代以降に朝鮮半島から多くの文化財がさまざまなルートでもたらされています。

昨年まで、大阪、京都、滋賀、奈良で開催してきました「朝鮮半島由来の文化財を考えるワークショップ」、今年は会場を東京に移し、優れた作品が展示されている東京国立博物館・東洋館を見学します。時空を超えて貴重な朝鮮半島由来の文化財に接することができる空間です。見学に先立ち、午前中は同館所蔵の「小倉コレクション」について学びます。1日だけのプログラムですが、関心ある多くの方のご参加を呼びかけます。



江原道の羊の石像 (18-19C)



慶尚南道出土金冠 (5C)



毘盧遮那仏立像 (9-10C)



平壤の文官の石像 (18-19C)

■日時：2019年6月16日(日) 10:00～11:50 (受付開始 9:30、東京文化会館)レクチャー

13:00～東京国立博物館(東洋館) *見学後、自由解散

■会場：東京文化会館(「中会議室 1」)(JR 上野駅公園口すぐ前 ☎03-3828-2111)

東京国立博物館(東洋館を中心に自由散策)

■予定人員：30名(要予約)

■参加費：1,000円(東京国立博物館団体入場券込み。学生500円)

*予約方法：Eメール・Fax・はがきで下記に申し込み。参加費は当日会場受付で。

■レクチャー・テーマ：『東京にある朝鮮文化財

—東京国立博物館・小倉コレクションを中心に—』

講師＝李素玲(元日本大学講師、前高麗博物館理事)

■主催：「朝鮮文化財ワークショップ」実行委員会
東アジア・歴史文化財研究会

■連絡先：☎080-5079-5461 E-mail: workshop_0521@yahoo.co.jp
Fax03-3237-0287 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-31-401

■後援：駐日大韓民国大使館 韓国文化院・国外所在文化財財団



「朝鮮半島由来の文化財を考えるワークショップ 2019・東京」参加申込書

- ① 名前：
- ② 住所：〒
- ③ Email：
- ④ 所属など：

☎
Fax